

## ニカメイガ(越冬世代幼虫)の秋～冬の間の防除が大事!!

近年、坂井地区や福井北部地区を中心にニカメイガの被害が多発しています。今年はや平年・前年より、5月の成虫捕獲頭数も多く、また、被害が県全体に拡大し始めました。被害が多かった圃場（白穂割合1%以上）では、来年、必ず箱施薬等（フィプロニル、ジアミド系等を含む）を施用するとともに、今秋から冬にかけて越冬世代幼虫の密度を下げる対策を徹底しましょう。

表 フェロモントラップにおける成虫捕獲数（坂井市）

	発蛾最盛期の量
令和3年	467
前年	107
平年	290



ニカメイガの幼虫が食入している現在の稲株

### 1 稲株での生息状況

今年、本虫被害のひどかった圃場では、稲刈り後の株に、ニカメイガの幼虫が50頭/m<sup>2</sup>と非常に多い密度で生息しています。

表 ニカメイガの幼虫(越冬世代)の発生密度

	令和3年10月 (特に発生が多かった圃場)	(参考)平成27年10月 (坂井地区圃場)
ニカメイガの幼虫 発生密度	21.3~88.2 頭/m <sup>2</sup> 平均 52.5 頭/m <sup>2</sup>	8.3~11.1 頭/m <sup>2</sup> 平均 9.8 頭/m <sup>2</sup>

### 2 越冬幼虫の防除時期(秋～冬)

秋の田起しと、冬の湛水により、幼虫の越冬場所である刈り株を破碎し、埋没させることで越冬幼虫を減らします。

	時期	注意事項	効果
耕起	未実施の圃場は 至急実施	深さ15cm、 耕耘速度1km/h	現在稲株 にいる幼 虫が、越 冬後に 88%死滅 する。
湛水	11月下旬～2 月末まで	土壌表面の一部が 見え隠れする程度 の水の量(暗渠を閉 めて雨水をためる)	



湛水処理のようす

◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先 0776(54)5100

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう